

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928 長野市若里 1-5-26
電話 026-226-0086
FAX 026-226-8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料 3,600円
会員の購読料は会費に含まれています



2018年（平成30年）4月25日
No.446（毎月1回25日発行）
（1990年6月22日第三種郵便物認可）
主な記事
2018年度活動方針・・・2～4面、歯科指摘
事項・・・5面、医科指摘事項/フィリピン医
療を支える会報告会・・・6面、共済特集・・・7
面、保険かわら版/理事会だより・・・8面

新点数検討会、前回上回る参加者 医科と歯科10会場で874名

長野県保険医協会の新点数検討会は3月下旬に医科、歯科ともに5会場で実施し、10会場、計450医療機関から874名の参加があり、参加医療機関数、参加者共に前回（358医療機関、688名）ともに前回は上回った。（356医療機関）。

医科の検討会は、5会場を通じて301医療機関（前回240）、675名（前回533名）の参加があり、参加医療



上田会場（医科）148名参加

機関、参加者ともに前回は大きく上回った。

テキストの編集に従事した社保担当事務局が講師を務め、①かかりつけ医療機能を有する医療機関の初診料の評価として、「機能強化加算（80点）」が新設されたこと。②情報通信機器を活用したいわゆる「遠隔診療」について、オンライン診療料（70点）、オンライン医学管理料（100点）、オンライン在宅管理料（100点）等が新設されたこと。③外来後発医薬品使用体制加算の後発医薬品使用割合の要件引き上げ、向精神薬多剤投与の減算規定の厳格化、向精神薬長期処方減算規定が設けられるなどの改定が行われたこと、などの解説が行われた。

なお、4月下旬には「新点数運用Q&A—レセプトの記載—」を用いた検討会を開催。Q&Aテキストは会場配布となるため、出席できなかった開業医会員には郵送にて発送となる。

歯科の検討会は、5会場を通じ、149医療機関（前回116医療機関）、199名（前回155名）の参加があり、医療機関、参加者とも前回改定を上回った。

検討会の講師は、役員3名と歯科部員2名で5会場を分担した。テキストを元に、①新設された院内感染防止対策の施設基準（初診料の注1）および



松本会場（歯科）72名参加

外来環の届出の有無による点数の違いや経過措置について、②在宅医療において導入された「単一建物」の考え方と算定区分や点数、③変更のあった歯科固有の個別点数項目など等に触れ、新旧点数の違いのわかる症例も含め、講師が事前に参加した保団連検討会の内容を踏まえて説明を行った。

表1 チェック観点

区分	内容
回数	診療報酬点数表等において「○○」に●●回を限度として算定する（に限り算定する）」等、算定単位ごとの算定回数が見られている事例。
対象外算定	診療報酬点数表等において「○○」に算定する」、「○○」した場合に●●を算定する」、「○○」を算定している患者に算定する」等と示されその要件を満たしていない事例。
背反	診療報酬点数表等において「○○」を算定した場合には●●は算定できない」、「同時に算定できない」、「主たるもののみ算定する」等と示されている事例。ただし、「○○」を算定した場合には●●に含まれ■は算定できない等、「含まれ」等の包括規定が記載されている場合は「包括」を優先する。
包括	診療報酬点数表等において「含む」及び「含まれる」等と示されている事例
用法・容量	医薬品の添付文書（用法・用量）において「○○年に●●回■mg投与する」、「投与期間は○○週間とする」等記載されている事例
数量	材料価格基準等において「○○を限度として算定する」、「○○につき●●個のみ算定する」等示されている事例
医学的必要性	医学（薬学）的見解に基づき、情報提供する審査の一般的取扱い等の事例
その他	上記の観点に該当しない事例

支払基金 コンピュータチェック 対象86,219事例を公開

公開されたものは既に運用開始

3月20日社会保険診療報酬支払基金（以下支払基金）は「コンピュータチェックに関する公開基準及びコンピュータチェック対象事例」を公開した。昨年7月に厚生労働省と支払基金は業務効率化・高度化計画を策定し、統一的なルールを設定した上で、2022年度にはレセプト全体の9割をコンピュータチェックで完結することを目指している。今回はそのチェックルールの第一弾として86,219事例を公開した。

データの内容を見ると、チェック対象として医科診療行為（21,646事例）、

歯科診療行為（435事例）、調剤行為（42事例）、医薬品（61,972事例）、特定保険医療材料（2,124事例）の5区分に分類されている。また、それぞれの項目にはチェック観点として、1)回数、2)対象外算定、3)背反、4)包括、5)用法・用量、6)数量、7)その他の7区分がある。それぞれの用語の内容は表1の通り。更にチェックする上での参照範囲についても1)単月、2)入外、3)突合、4)縦覧、5)単入、6)単突、7)単縦の7区分に分けて行うことも示された。

コンピュータチェック対象事例の診療内容の適否については、審査委員会

の医学的判断により決定されるとしているが、今後こうしたコンピュータチェックによる審査が強化されていくことになる。今回公開された基準については、既に運用が開始されており、今後追加や変更が行われた場合は適宜公開される予定となっている。

2018年3月20日時点の公開事例のデータは支払基金の下記のページよりダウンロードできる。
http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/ssk_cc300320/index.html

表2 参照範囲

区分	内容
単月	当月請求分のみ参照する事例
入外	同一医療機関・同一患者に係る入院レセプトと入院外レセプトを参照する事例
突合	同一医療機関・同一患者・同一診療（調剤）月に係る医科レセプト又は歯科レセプトと調剤レセプトを参照する事例
縦覧	同一医療機関・同一患者に係る当月請求分レセプトと過去複数月のレセプトを参照する事例
単入	「単月」及び「入外」の組み合わせ
単突	「単月」及び「突合」の組み合わせ
単縦	「単月」及び「縦覧」の組み合わせ

先ずは事実を。今は敗戦後72年8ヶ月。日本の国土にアメリカ軍基地が134箇所。訪日したトランプ大統領は羽田でも成田でもなく横田基地に降り立った。無条件降伏後の日本国はGHQの統治下に。日本国憲法が作られた時、日本国は「他国」統治下で日本国民には主体性がなかった。そこには主権者は国民とあるのに。軍隊放棄が明記。新聞は配達直前の検閲を恐れGHQに付度して数々の記事の取捨選択、修正をした。黒塗りがあると容赦なく全部数の廃棄、刷り直しが命じられた。◆今日の新聞、テレビの報道、解説とネット情報との間に、福島原発事故を含め政治経済社会軍事において、様々な大きな乖離がある。「これはテレビでは言っていない」とポロリと本音発言が流れる。発言切り取り放映、選挙民に少なからぬ影響を与える政治家の表情をとらえた写真。取捨選択権はメディア側の人間が持つ。それらの情報は我々の感情の領域に入ってくる。ある種の洗脳下、送り手側の意図はますます疑われない。◆70年を経て開示された米国の公文書等はルーズベルトの真珠湾攻撃事前察知を示唆する。これは日本が丸ごと、否米国民も含めて全世界が「洗脳」された事の有効な証拠となる。◆日本にとつて「今日の鍵語」は鍵人介入による、あるいは億単位の広告料で生まれてしまう広告主に対する付度、その他様々な方面への付度を介したメディアの、結果としての情報操作、洗脳。さらにそれからの「覚醒」である。◆さて、この頃は個人攻撃の道具として週刊誌を操る鍵人の「人間性」を暴く他のメディアがあれば面白いと思う。(N・O)

